

村山地域「入退院支援ルール」の統一に向けた経過について

1 趣旨

病院から退院後に切れ目なく医療や介護サービス等の必要な支援を受けられるようにするため、「入院時」から「退院時」までにおける病院と介護支援専門員（以下、「ケアマネジャー」という。）等の入退院支援ルールを明確化する。これにより、医療と介護の連携を一層強化し、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

2 平成 30 年度の状況・課題

村山地域医療機関退院支援部署連携会で作成した「転院連絡票」・「入退院支援フロー」、山形市が作成した「退院支援フロー（地域版）」、県立河北病院と河北町間の情報提供書等があり運用中であるが、各地域を越えて患者が行き来しており、退院後も切れ目のない医療と介護が提供できるように統一した入退院支援ルールが必要である。

3 村山保健所におけるこれまでの関連会議等開催状況（平成 30 年度）

	会議等名称	開催日	内容	備考 参集機関等（参加者数）
1	医療と介護の連携推進に関する情報交換会	7月30日	意見交換を実施し、入退院支援ルールの統一に向けた検討を進めていくことになった。	市町、在宅医療介護連携拠点、病院担当者
2	第1回在宅医療専門部会	10月19日	「入退院調整ルール検討プロジェクト」の設置承認。	
3	第1回地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議	12月12、13日	入退院支援についての講演等、入退院支援について意見交換（グループワーク）。	※1（114名、185名、合計299名） 講師※3
4	第1回入退院調整ルール検討プロジェクト	12月25日	3で出された意見・課題等を整理し、入退院調整ルール原案作成。	※2 助言者※3
5	第2回地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議	1月16、18日	4で作成したルール原案について、意見交換（グループワーク）。	※1（155名、80名、合計235名） 助言者※3（18日のみ）
6	第2回入退院調整ルール検討プロジェクト	1月28日	5で出された意見・課題等を整理し、入退院支援ルール案を作成。	※2 助言者※3
7	第2回村山地域保健医療協議会在宅医療専門部会	2月22日	6で作成したルール案を協議し、入退院支援ルールを「入退院支援の基本的な約束ごと」と整理し、「村山地域入退院支援の手引き（案）」を作成。	
8	村山地域保健医療協議会	3月7日	協議後、承認。	
9	「村山地域入退院支援の手引き」完成	3月15日	関係機関に通知等。ホームページ掲載。	
10	第3回地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議（合同説明会）	3月26日	入退院支援の手引きについて説明。※3 ACPに関する講演（在宅療養推進地域フォーラムを兼ねて開催）	

※1：郡市医師会、病院、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、在宅医療介護連携拠点、市町等

※2：構成団体（18）：郡市医師会、病院（看護部）、介護支援専門員、訪問看護、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携拠点、医療ソーシャルワーカー、村山保健所。オブザーバー：14市町。

※3：山形大学大学院医学系研究科看護学専攻准教授大竹まり子氏

4 今後の対応

・「村山地域入退院支援の手引き」の活用・定期的な点検協議

○地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議の開催状況

開催状況(12月12日)IN 寒河江



○閉会前に全員で記念撮影をしました!



○大竹まり子先生から「地域包括ケア時代の入退院支援」について教えていただきました。



○行政、病院、ケアマネ、地域包括の立場から情報提供をいただきました。

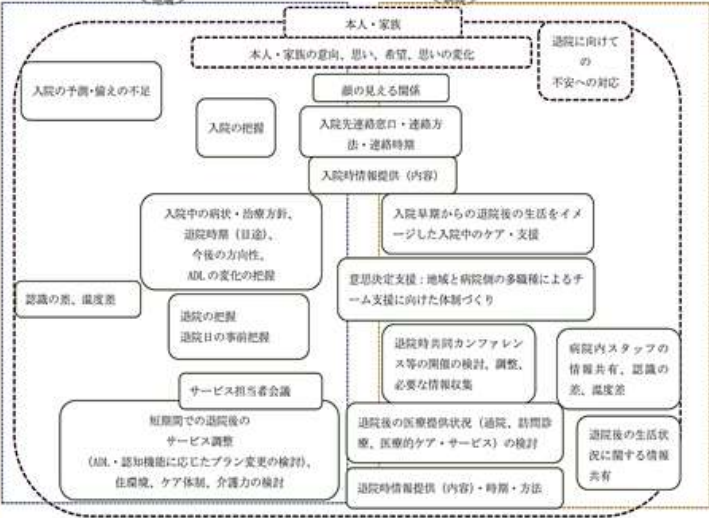


○限られた時間でしたが、医療・介護関係者でグループワークを行いました。

意見交換の記録
記録より、一部をご紹介します。

意見交換の記録
記録より、一部をご紹介します。

第1回 村山地域「地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議」の意見交換で出された課題の整理



開催状況(1月16日)IN 山形



○5グループに分かれて、病院のポスタープレゼンテーションを行いました。



○会議開催前に、ポスター展示及び担当者間の情報交換を行いました。



○限られた時間でしたが、医療・介護関係者で24グループに分かれて意見交換を行いました。



○一部のグループから新しい合った提案を発表してもらいました。

○閉会前に全員で記念撮影をしました!

第3回合同会議開催状況(3月26日)

○第1部 「村山地域入退院支援の手引き」をより良い支援につなげよう!

○医療者から手引きについて説明し、大竹まり子先生から助言をいただきました。

○手引きをより良い支援につなげるために、参加者から御意見をいただきました。

○第2部 在宅医療推進地域フォーラム～ACP(アドバンスケアプランニング)を一緒に考えてみませんか～

○会場で先生から、超高齢社会の医療選択にかかわる意思決定支援について御講演をいただきました。

○会場開催前に、市町・在宅医療介護連携窓口お知らせコーナー及び病院のポスター展示

○第3回合同会議に全員で記念撮影をしました!

本手引きは、その人らしい暮らしの場へ帰るために、「入院時」から「退院時」における病院と担当ケアマネジャー等の入退院支援の基本的な約束ごとを明確化してまとめたものです。

○本手引きの入退院支援を実際に、それぞれが実践していくことが大切です。入退院支援に関わる病院関係者と地域の在宅多職種関係者により、地域における切れ目のない医療介護連携体制の構築、医療・介護関係者の相互理解の向上が図れるよう、本手引きの普及展開が求められます。

本手引きは、より良い支援ができるよう、今後もみんなで見直しながら進めていきたいと思います。

※山形県ホームページに『村山地域入退院支援について』掲載しました。

検索方法：県ホームページ⇒地域情報⇒村山地域の情報⇒村山地域の暮らしに関する情報⇒保健・衛生⇒村山地域入退院支援について

- 内容○村山地域入退院支援の手引き (平成31年3月発行)
- 村山地域入退院支援に関連する関係機関一覧 (平成31年3月現在)
- 参考資料 村山地域入退院支援の手引き作成にいたるまでの検討経過
- 参考資料 ポスタープレゼンテーション資料